

2007リュートの会定期演奏会

2007年11月3日 聖グレゴリオの家 聖堂 午後2時開演

I

1. 五十嵐 富美代 [19世紀ギター]

練習曲 Op. 35-22F. ソル
Gárdame las vacas によるディフェレンシアス
.....L. デ・ナルバエス

2. 朝倉 靖雄 [ピウエラ]

Benedictus & PlenifuntE. バルデラバノ
RecercareF. スピナチーノ

3. 五十嵐 春香 [19世紀ギター]

練習曲 Op. 31-19F. ソル
歌と舞曲V. ガリレイ

4. 青山 比呂乃 [歌]

佐藤 一也 [ガンバ]
矢澤 勝之 [リュート]

「ミゼレーレ」より抜粋.....M.-R. ドラランド

ドラランドは、フランスの太陽王ルイ14世とルイ15世に仕えた宮廷楽団作曲家として、68歳まで生き、王室礼拝堂のために70曲以上のグラン・モテ（管弦楽伴奏付宗教曲）を作曲、ヴェルサイユ様式の頂点を極めた。今日演奏するのは、通常オルガン伴奏のみで歌われるプチ・モテと呼ばれる宗教曲。後に素晴らしい歌手となった娘が2人生まれたばかりの若き頃の作品だが、その後54歳で天然痘でこの娘達を一度に亡す。同様に皇太子夫妻を亡くしたルイ14世が遊び暮らしていたヴェルサイユ宮殿の礼拝堂で毎日祈りを捧げるようになった時、この曲は、ひしひしと胸に迫るものとなったのではないだろうか。

5. 田幡 明日香 [歌]

田幡 賢一 [ルネサンスリュート]

大公のアリア／コレンタ.....S. ガルシ・ダ・パルマ
今ぞ、別れのとき.....J. ダウランド

6. 西野 辰子 [バロックリュート]

サラバンド.....デュフォ
チャコーナデュビウ

《休 憩》

II

7. 青山 比呂乃 [ガンバ、歌]

渡辺 マリ [ガンバ]
矢澤 勝之 [ガンバ、リュート]

3声のファンタジア 1番／3声のファンタジア 2番／
嘆き.....H. パーセル

ヘンリー・パーセルは、英バロック期屈指の音楽家として、8歳で王室礼拝堂の聖歌隊員、18歳で王室付常任作曲家となり、36歳で亡くなるまでに、驚くほど多様な曲を残している。自身がカウンターテナーとバスの歌手でもあり、英国伝統の演劇のための歌曲、特にグラウンド・バス（短い旋律の繰り返し）の曲を巧みに数多く書いた。33歳での劇音楽「妖精の女王」からそうした歌を1曲。一方で、その頃廃れつつあったヴィオール・コンソート曲ファンタジア集を21歳と若い頃に作曲。こうした器楽曲では、調性があやしく揺れる傾向がある。パーセルの音楽の多様な側面を感じていただければ嬉しい。

8. 小松 俊二 [ルネサンスリュート]

リチェルカーレ第5番.....G. M. ダ・クレマ
パッサメッツァ.....A. ル・ロア
「お前は私が死ぬだろうと言った」

.....C. ドウ・セルミジー〜F. ダ・ミラノ
ババーナ..... M. V. カピロラ

伊・仏初期4作品で、テーマ(旋律線)の分かり易い(?)曲を選びました。3曲目物騒なタイトルの曲は多くのシャンソンを書いたセルミジー(仏)の歌曲が元です。愛の究極表現でしょうか。

9. 伊佐坂 則彦 [バロックリュート]

Sonataより
Preludeo - Allmand - Courant.....S. L. ヴァイス

10. 中山 早苗 [ルネサンスリュート]

Semper Dowland Semper Dolens／Come Again /
A FancyJ. ダウランド

11. 三瓶 綾子 [ソプラノ]

倉又 義克 [リュート]

Sweeter than Roses／Fairest Isle /
An Evening HymnH. パーセル

12. 五十嵐 正明 [バロックリュート]

主題と変奏 ト長調.....P. ロカテッリ〜B. ハーゲン